



平成 23 年 3 月 31 日

各 位

会社名 株式会社 日本 触 媒  
代表者名 代表取締役社長 近藤 忠夫  
(コード番号 4114 東証・大証 各第 1 部)  
問合せ先 総務部長 和田 輝久  
(TEL 06-6223-9111)

インドネシア子会社 PT. Nippon Shokubai Indonesia における  
高吸水性樹脂事業化計画の規模拡大のお知らせ

当社は、本年 3 月 31 日開催の取締役会において、昨年 7 月 30 日開催の取締役会で決議し、同日公表済のインドネシア子会社 PT. Nippon Shokubai Indonesia（以下 NSI という）での高吸水性樹脂（以下 SAP という）事業化計画の規模を拡大することを決議いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 背景および投資目的

当社のコア事業のひとつである SAP は、紙おむつの原料として堅調な需要の伸びを示しております。とりわけ顕著な新興国市場における需要拡大に対応するため、2013 年 3 月稼動予定で、NSI での年産 3 万トンの事業化を昨年 7 月に決議しておりました。

しかしながら、SAP の需要は予想を超えた急増を示し、昨年秋に完工した姫路製造所での年産 6 万トンプラントも含め、当社グループの SAP プラントはいずれも高稼働となっております。この NSI での 3 万トン増設後もすぐに供給能力が不足する見込みであることから、主原料アクリル酸（以下 AA という）を含めた大規模増設が早急に必要との認識に至りました。既存立地、新規立地含めて検討を重ねてまいりましたが、今般 NSI での新設計画の規模拡大（SAP 9 万トン、AA 8 万トン）を最善の策として決定した次第です。

これによりまして、本投資後の当社グループの SAP 年間生産能力は世界合計で 56 万トン（国内 32 万トン、海外 24 万トン）となり、トップサプライヤーとしての地位をより強固にしてまいります。

(参考) AA の増設後の当社グループ年間生産能力は 70 万トン（国内 46 万トン、海外 24 万トン）

## 2. 投資の内容

生産能力	—— AA 8万トン / 年（既存能力6万トンと合わせて計14万トンの生産能力となる） SAP 9万トン / 年（昨年7月決議の3万トンを含む）
時期	—— 2013年2月末完工、同年8月商業運転開始
場所	—— NSI 既存敷地内
設備投資等	—— 約300百万米ドル（昨年7月決議の3万トンを含む）

## 3. NSI の概要

社名	PT. Nippon Shokubai Indonesia
所在地	インドネシア共和国チレゴン市（本社および工場）
代表者名	社長 田中雅一（Masakazu TANAKA）
設立	1996年8月
資本金	120百万米ドル（払込資本金） 当社93.7%出資
事業内容	AA およびその誘導品であるアクリル酸エステル（以下 AES という）の製造・販売（AA 能力6万トン/年）
従業員数	268名（2010年12月末現在）

## 4. 業績に与える影響

今年度、来年度の業績予想には何ら影響を与えるものではありませんが、2013年度以降の業績は、上記設備を有効に活用し、既存の AA・AES 事業とのバランスを取りながら収益確保を図ってまいります。

以上